

令和2年4月10日

授業担当者 各位

富山大学長 齋藤 滋

新型コロナウイルス感染症対策としての授業実施上の注意事項について（依頼）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び感染リスクの低減を図るため、授業実施にあたっては、下記の事項に御留意いただきますようお願いいたします。

## 記

### 1. 授業前

- ・ 講義科目については、授業実施学部等の教務担当と使用する教室について検討する。学生ができるだけ余裕を持って着席できるようにし、どうしても対応できない場合は、2教室に分けて講義するなどの工夫を行う。（2教室に分けた場合、それぞれで45分の講義と45分の課題を与えての学修とを組み合わせることも可。）
- ・ 学生の着席場所を指定したい場合は、事前に資料を作成し授業実施学部等の教務担当に掲示を依頼しておく（疾患等により座席の配慮が必要な学生にも十分注意すること）。
- ・ 授業の2日前までに授業資料をMoodleにアップする。アクティブラーニング形式の授業を行う場合は、マスクを持参するよう伝えておく。
- ・ 学部の新入生への連絡には、Moodleにある各学部向けコース（2020\_入学生\_〇〇学部）も活用して、学生への連絡事項の更新を行うよう、教務の更新担当窓口と連絡を行う。
- ・ シラバスのリアルタイムアドバイス欄や掲示情報を更新する。
- ・ 実験・実習科目については、学部長と相談した上で行う。
- ・ 卒業研究や大学院生に対する講義・実習については、感染予防対策をとった上で行う。実験室やゼミ室内での集団感染を防ぐため、毎日学生の体調を確認する。
- ・ 体調管理に努め、風邪症状など体調不良がある場合は無理をせず休講措置をとる（ヘルンシステムに入力するとともに、教務担当に連絡を入れ、休講した場合は、補講日を設定する。）。教務担当は、ウェブサイト、Moodle、Active!mail、ヘルンシステム、スマホアプリ「とみだい iNfo」等で速やかに学生に伝える。
- ・ 大学に到着後は、スマートフォンのWi-Fiをできるだけオフにし、授業での

通信環境の向上に協力する。

- 教室に入る前に、30 秒以上の手指洗いを行う。アルコール消毒液が設置されている場合は、手指消毒を行う。
- 教室には可能な限りマスクを着用して入る。
- 教室を換気しておく。
- 遠隔授業を行う場合は、その開催アナウンスを Moodle や Active!Mail 等を通じて学生に伝える。
- Zoom を使用する場合は、その URL を確認し、それを学生に正しく伝える。
- 学生からの質問を受けるための連絡先（メールアドレス等）を Moodle に記載しておく。

## 2. 授業中

- 教室では可能な限り座席をひとつ空けて座らせる（およそ 2m 程度）。着席場所を指定した場合は、指定した席に座っているかを口頭で確認する。
- 発熱，咳，味覚・嗅覚障害がないか口頭で確認し，体調不良の学生がいないか注意して見る。
- 新型コロナウイルス感染等により登校停止又は自宅待機となり，講義や実習等を欠席することになっても，学生には不利益とならないよう配慮が行われることを説明する。
- 学生の発言を最小限にし，対面で発言させる場合は可能な限り十分な距離（およそ 2m 程度）をとらせる。
- アクティブラーニング形式の授業は，可能な限りレポートを作成させるなど別の手段と置き換える。他に置き換えられない場合は，必ずマスクを着用させる。
- 授業の途中で教室を換気する（30 分毎に 5 分程度）。窓やドアの開閉を学生に協力させる。
- 窓を開けて授業する場合には防寒対策に努める。
- 質問は授業後に Moodle,メールで行うこととし，メモを取るなど準備をしておくよう指示する。
- Zoom を使用する場合は，学生に声や映像が届いているかを確認する。

## 3. 授業後

- 30 秒以上の手指洗いを行う。アルコール消毒液が設置されている場合は，手指消毒を行う。
- 教員研究室でのオフィスアワー，質問・相談の受け付けは避け，必要な場合は Moodle,メールで行う。

**【問い合わせ先】**

(感染症防止に関すること)

保健管理センター

Tel. 076-445-6911

(Moodle や Zoom のシステムに関すること)

学術情報部情報政策課

Tel. 076-445-6057

(授業実施やとみだい iNfo に関すること)

学務部学務課

Tel. 076-445-6078

(感染例や問題が生じた場合の連絡先)

危機管理室

Tel. 076-445-6272